

はじめに

雇用促進センターで実施されている個人に対する相談援助業務は、現在、新規学卒者、若年求職者、定年後の再就職希望者、家庭婦人等、さまざまな求職者に対して、個別に職業ガイダンス業務、職業能力開発の相談業務、女子再就職援助業務等の相談援助業務が行われている。

この研究はこれまで行われてきた相談援助業務のありかたを見直し、新しい相談援助体系を検討することを目的とするもので、その検討の方向に欧米の職業安定機関に普及している「ジョブクラブ」と呼ばれるグループ援助技法を参考にして、就職へのフォローアップ機能を充実させようとする目的としている。

平成7年12月に発表された自己啓発推進有識者会議の報告書『個人主導の職業能力開発の推進に向けて』によれば、今後、「個人主導の職業能力開発への取組みに対しても、より一層積極的な位置づけを与えていくことが重要になる」と述べられている。こうした報告がなされる背景には、自己実現のための職業生活に関する生涯設計への関心が高まり、個人の意志で積極的に職業能力を開発し、向上させる傾向が増加していくと考えられるからである。

また、同報告書では、職業生活の節目節目に、各人の有する職業能力の分析や将来のキャリアの設計をすることが重要で、職業能力開発プラン作成にかかる支持、個人に対する情報提供・相談援助の充実等について検討を進め、実現に向けて努力を求めるとして、個人主導の職業能力開発が推進される環境づくりが必要であると提言しているのである。

そこではさらに具体的な提言がなされているが、本研究との関わりで関連する事項を要約すれば

- (1) 将来のキャリアを設計する前提として、個人の職業に関する、知識・技能、経験・経歴、適性、関心など職業能力・キャリア等について客観的に分析すること。
- (2) 労働者が自ら将来のキャリアの設計を行うことを支援するとともに、必要となる職業能力開発のためのプラン作成を援助する体制の整備が求められること。また、作成されたプランに沿って必要な教育訓練が積極的に推進されるよう、各種教育訓練機関との連携に配慮することが求められること。
- (3) キャリアカウンセリングは、あらゆる場面でその必要性が高まると予想されることを踏まえ、キャリアカウンセリングに関する技法・ノウハウを広く提供するほか、カウンセラーの育成等を図る体制の整備が求められること。

と個人のキャリア形成の重要性とその支援について述べ、さらに

- (4) 職業能力開発に関する情報提供・相談援助の体制については、労働者個人も利用しやすく、そのニーズを満たせるよう、その充実強化を図ること。

と多様な情報を必要に応じて広く提供することの必要性について述べているのである。

その後発表された『第6次職業能力開発基本計画』では、「労働者が自発的な職業能力開発を行うにあたっては……将来のキャリア設計に資する具体的な職業能力開発プランを作成することが必要となる」と述べ、そのための体制の整備を図ることが謳われている。ことにホワイトカラーに関しては「各

人の持つ職業に関する能力、適性、関心等を把握した上で、職業生涯にわたるキャリア形成の設計について…専門的見地から助言等の援助を行う…」必要性が高まっていると指摘して「…雇用促進センターは、広く国民に対し、各種の相談窓口や援助制度・助成措置の利用方法を始め、職業能力開発に関する施策の内容等について、特に個人にとっても分かりやすいような形となるよう各種の工夫をはかりつつ、周知広報を積極的に推進する」ことが提言されている。

われわれが平成6年度に取組んだ「雇用促進センターにおけるガイダンス援助業務のあり方に関する研究」を発展させた本研究「職業ガイダンス業務を効果的に実施するための手法の開発に関する研究」は、多様で個性的な生き方を求めつつも自らのキャリア設計を立てる経験と知識の少ない若年層を対象として生涯にわたる職業生活の設計をたてるための相談援助業務を効果的に行う方法を検討してきているが、その方向は自己啓発を支援する職業能力開発行政の目指す方向の線上にある。

本研究は、先行研究を含めると二年の期間を要し、あわせて15名の委員のご協力をいただいた。このうち、業務ご多忙にもかかわらず先行研究を含め二年間にわたって委員をお願いした方も多数おられる。また、本年度は、雇用促進事業団の職員以外にも明治学院大学渡辺三枝子氏、日本労働研究機構松本純平氏にもご参加いただき、ご専門の立場からご指導、ご助言をいただいた。

本研究がこのようななかたちでまとめることができたのは、これらの方々のご協力を得ることができたことによるものと感謝している。記してお礼申し上げる次第である。

この研究が契機となって、今後雇用促進センターにおける相談援助業務が一層発展することになれば幸いである。